



指宿まるごと観光ガイド会（指宿市）

発表者：吉 留 紀代子 氏

皆様、東洋のハワイ、指宿からやってきましたアロハ、こんにちは。指宿まるごと観光ガイドの吉留紀代子でございます。この度は、大変な賞をいただき、このような席にお招きをいただきましてガイド会一同大変喜んでおります。こんな大きな花をつけていただきまして、「わたしゃ名もいらなきゃ、もう少し背がほしい」というところでしょうかね。

1 指宿まるごと観光ガイド活動

それでは、「指宿まるごと観光ガイド会」の活動について、少しご紹介させていただきます。

私どものガイド会は、2008年大河ドラマ「篤姫」を機会に「篤姫観光ガイド会」が発足して10年目にあたります。大河ドラマの放映中、多くのお客様が訪れ、10月には10万人を超えるお客様が訪れました。シニア世代ばかりのガイドでしたが、1日600人以上のお客様を案内しました。本当にすてきな出会いや思いで、生きがいを感じることができました。

これを契機に、他にもボランティアガイド会が誕生し、現在では、6つのガイド会をまとめて「指宿まるごと観光ガイド会」として活動をしています。



①篤姫観光ガイド会に続いて、②薩摩の海の玄関口、山川港を巡る「いっど、いっが、山川港の会」、③薩摩が生んだ幕末の豪商濱崎太平次ゆかりの地を巡る「湯ったい指宿まちあるきガイド会」、④歴史と神話が残る開聞地区の「かいもん伝え歩きの会」、⑤明治・大正期の建物が残る指宿発祥の地「宮ヶ



浜ガイド会」、そして⑥西郷隆盛ゆかりの温泉「うなぎ温泉まる会」と、指宿市内の様々な場所でガイド活動に励んでいます。

次に、このガイド会ができた頃、九州新幹線の開業とともに、鹿児島中央駅指宿駅間に特急電車「指宿のたまて箱」が走り、指宿駅にはたくさんのお客様が降り立ちます。ガイドならではのおもてなしではありますが、お客様とのほんの数分間の出会いの中で、少々のお話をしながら活動を行っ



ています。それについて少しお話しますと、こうして旗を持ちながら、「いらっしゃいませ ありがとうございます」とお客様をお迎えます。外国人の観光客も多くいらっしゃいます。英語は話せませんが、「ウェルカム ツウ イブスキ」、「ニーハオ シエシエ」、「アニョンハセヨ カムサハムニダ」、「ボンジュール コマンタレブー」、私のことではないですよ、これはフランス語ですね。実は、お客様をおもてなしすることは、逆にお客様から元気もらっており、毎日本当に楽しくやっています。はじめてのガイドさんもこんなに嬉しいものとは知らなかったと喜んでいます。



次に、出前ガイドとして、指宿の美術館「薩摩伝承館」でのガイド活動や、ホテル・旅館での語り部活動などを行っていますが、きまりはなく、各ガイドがそれぞれ思うことをお話しています。もちろん、地域のガイド会では、地域の史跡などの清掃活動のほか、敬老会や六月灯、

子供会などの色々な行事において講演や司会を行っています。

さらに、3年程前から薩摩半島と大隅半島を結ぶなんきゅうフェリーが山川港から出ていますが、フェリーの中でのガイドを行っており、大変好評です。話半分、景色を見てもらうのが半分です。



最後になりますが、私たちの活動は、まずは地域の方々に知ってもらい、訪れる方々に



指宿のファンを増やしてもらおう、鹿児島ファンと言い換えても良いですよ。願いはこの輪が広がること、賛同者がたくさんほしいということです。指宿駅に降り立てば、素晴らしいことばのピラミッド花壇が待っています。「訪れる人に幸せを、訪れる人に安らぎを、去り行く人に幸せを」と、この文言のとおりシニア世代が楽しみながら頑張っまいる。

2 おわりに

皆さん、2018年の大河ドラマは「西郷どん」と決まりましたね。県内各地にゆかりの地があると思いますが、指宿も山川港から島の方へ西郷さんは行かれましたね。もっとも愛した温泉地の鰻という所もあります。大河ドラマの始まりは、



明治37年、愛加那さんとお子さんの菊次郎が京都市長になった祝賀会の際に芸子がある歌をうたいました。皆さんと一緒にうたいたいと思います。この世代の方々はよくご存じだと思いますので、よろしくお願いします。

「1かけ 2かけて 3かけて 4かけ 5かけて 橋をかけ 橋の欄干 手を腰にはるか彼方を 眺むれば 十七八の 姉さんが 花と線香を 手に持って もしもし姉さんどこいくの 私は九州 鹿児島 の 西郷隆盛 娘です」

大河ドラマは、芸子のこの歌を聞いて、菊次郎が妹の菊子のことじゃないかと思うところからはじまるのではないかなあ。皆さんも幼いときに、まりつきやおてたまなどでこの歌をうたわれたと思いますが、子や孫たちまで全国に広めましょう。

ご清聴ありがとうございました。